

武雄で暮らす、ということ。

私たちが当たり前と感じている武雄での暮らし。今、その暮らしに憧れて武雄に戻ってくる人、移り住む人が増えています。

人々を魅了しているのは、都会にはない豊かな自然、安全で美味しい食材、住民同士の温かい交流など様々です。

自分らしく楽しむ魅力的な“武雄暮らし”をご紹介します。



People #01

山崎守・一代夫妻 田舎カフェ「やまさき」経営 地元で採れる食材で、より美味しい食事を。



赤穂山トンネルを抜けると左手に見えるオレンジ色の看板が。その案内に沿って進むと古民家風のカフェがお目見え。



築40年の古民家を改修して出来たお洒落な空間。のどかな自然風景と耳心地の良いジャズで癒される。



仲が良い山崎さん夫妻。キッチンでの調理は一代さん、ホールスタッフは守さんが担う。



多趣味で多才な一代さんがデザインされたというお洒落なれん。これまで全国で営んできた飲食店でも使っていたという歴史あるもの。



お店の看板メニューのオムライスは、一代さんが客の好みに合わせて味を変えるというほどのこだわりが詰まった一品。セットに付くポールの山盛りサラダは驚きのボリューム。



● 田舎カフェ やまさき
武雄市武内町真手野 19309
☎0954-33-0366
【営業時間】 11:00~19:00
【定休日】 月、火

「70歳からの第2の人生を武雄で過ごしたい」という思いで、福岡市から武内町に移住し「田舎カフェ やまさき」をオープンした山崎夫妻。今まで全国100件近く物件を見ていながらも、ここ、という物件が無かった中、武内町の物件は一目で気に入って、3分で購入を決意したとのこと。

その決意を固めたのは周囲の豊かな自然環境とお住もう課の支援だったと言います。

各地で飲食店を営んでいたという一代さんと、サラリーマンをしていた守さんの二人で切り盛りされるカフェは、懐かしい雰囲気とお洒落さが融合した空間で、訪れた人を癒してくれます。

看板メニューはソースが決め手の昔ながらのオムライス。食材は出来る限り地元で採れた物にこだわっているというだけあって、とびきりの美味しさです。お二人は、連日多くのお客様にお越しいただいて忙しいながらも、充実した日々を送っています。

今後の夫妻の夢は、地元の方に愛され、何気なく立ち寄ってもらえるような親しみやすいお店にすること。

今日もカフェやまさきには山崎夫妻の仲睦まじい笑顔が溢れます。